

感染状況・医療提供体制の分析(9月20日公表)

【岡山県専門家有志】 詳細
(東京都統括コメント参照) →



区分	モニタリング項目 公表の前週(月～日)の合計	前回の数値 (9月13日公表) 9月2日～9月8日	現在の数値 (9月20日公表) 9月9日～9月15日	前回との比較	分析コメント	
感染状況	① 定点当たり 患者報告数 <small>(注:報告者数は、県内84定点医療機関において、1週間に診断した患者数。定点当たり数は、1医療機関当たりの、1週間での平均患者数。)</small>	報告数	440人	387人	↓	感染状況コメント レベル2. 感染縮小しつつあるが注意が必要 定点当たり患者報告数は 4.61人 と減少。手足口病などその他の感染症も減少してきているが、A群β溶血性レンサ球菌咽頭炎はやや高止まり。インフルエンザが散発し発生。人の移動や集まりは一旦落ち着いたので、全国的にも岡山でも感染者数は減少傾向。しかし、高齢者が重症化しやすいというウイルスの特徴に変わりはない。状況に応じたマスクの適正使用、適切な換気が必要となる。特にハイリスクな方へはうつさないよう工夫が必要。 入院患者数変わらず。 ハイリスク患者は早期診断・早期治療が必要。
		定点当たり数	5.24人	4.61人	↓	
		報告数に占める60歳以上の割合	29.5%	28.4%	↓	
	② 保健所別 定点当たり 患者報告数 <small>(注:定点医療機関は、地域により患者数や患者の年齢構成にばらつきがあり、地域別の単純比較は多少の問題があるが、同じ地域で時系列の変動を見て、流行の推移を見るには有用)</small>	岡山市保健所	2.41人	2.36人	→	
		倉敷市保健所	6.25人	6.25人	→	
		備前保健所	4.53人	2.20人	↓	
		備中保健所	7.33人	6.33人	↓	
		備北保健所	6.50人	4.00人	↓	
真庭保健所	4.67人	6.67人	↑			
美作保健所	7.80人	8.20人	→			
入院状況	③ 入院患者数 <small>(入院基幹定点サーベイランスより)</small>	18人	24人	↑		
	④ 人工呼吸器利用 <small>(入院基幹定点サーベイランスより)</small>	2人	0人	↓		

*入院状況については、基幹定点医療機関(5箇所)での入院基幹定点サーベイランスより取得。感染状況コメントの中に、医療提供体制に関するコメントも付記します。